

地域密着型金融の取組み状況について

【平成27年4月～平成28年3月】

平成28年7月

目次

1. 地域密着型金融の考え方について	・・・ 3
2. 数値目標の実績について	・・・ 4
3. 地域密着型金融の具体的な取組みについて	・・・ 5
各取組みの基本方針について	・・・ 5
お客さまに対するコンサルティング機能の発揮	・・・ 6
地域社会の「まち・ひと・しごと」の活力向上への積極的な参画	・・・ 12
4. 今年後数値目標について	・・・ 13

1. 地域密着型金融の考え方について

社 是

地域社会の繁栄に奉仕する
これが銀行の発展と行員の幸福を
併せもたらすものである

第19次経営計画

『変わる！変える！生まれ変わる！』
～ 満足にあふれる銀行へ～

経済環境の変化に柔軟に対応し、
革新的創造を通じて成長力を高める3年間

社是や経営計画を念頭に、地域金融機関の原点である「お客さまとの対話」を重視した、本質的な地域密着型金融の取組みを継続し、お客さまに対する経営支援や地域経済の活性化に貢献します。

2. 数値目標の実績について

年間数値目標【期間：平成27年4月～平成28年3月】

目標項目	目標数値	実績	達成状況
①M & A、事業承継の相談件数	550件	554件	100.7%
②経営改善支援取組み先数	450先	435先	96.6%
③目利き能力や事業性評価に関する渉外研修の実施	600名 ※	584名	97.3%

※ 平成27年度当初目標は400名としていましたが、更に事業性評価の研修を充実させることによりレベルアップを図るため、**目標を600名に上方修正**しております。（平成27年12月修正）

3. 地域密着型金融の具体的な取組みについて

<各取組みの基本方針について>

(1)お客さまに対するコンサルティング機能の発揮

- ① 日常的・継続的な関係強化を通じ、事業性評価(事業内容や成長可能性、および経営の目標や課題の把握・分析)をします。
- ② 事業性評価を通じ、最適なソリューションを提案します。
- ③ お客さまと共に経営課題の解決に取組み、必要に応じてソリューションの見直しを提案します。

(2)地域社会の「まち・ひと・しごと」の活力向上への積極的な参画

- ① 地方自治体との連携を図りつつ、一体となり地域の面的再生への取組みに積極的に参画します。
- ② 成長分野の育成や産業集積による高付加価値化をサポートします。

(3)地域やお客さまに対する積極的な情報発信

地域密着型金融の取組みに関して、具体的な目標やその成果を地域やお客さまに対し積極的に情報発信します。

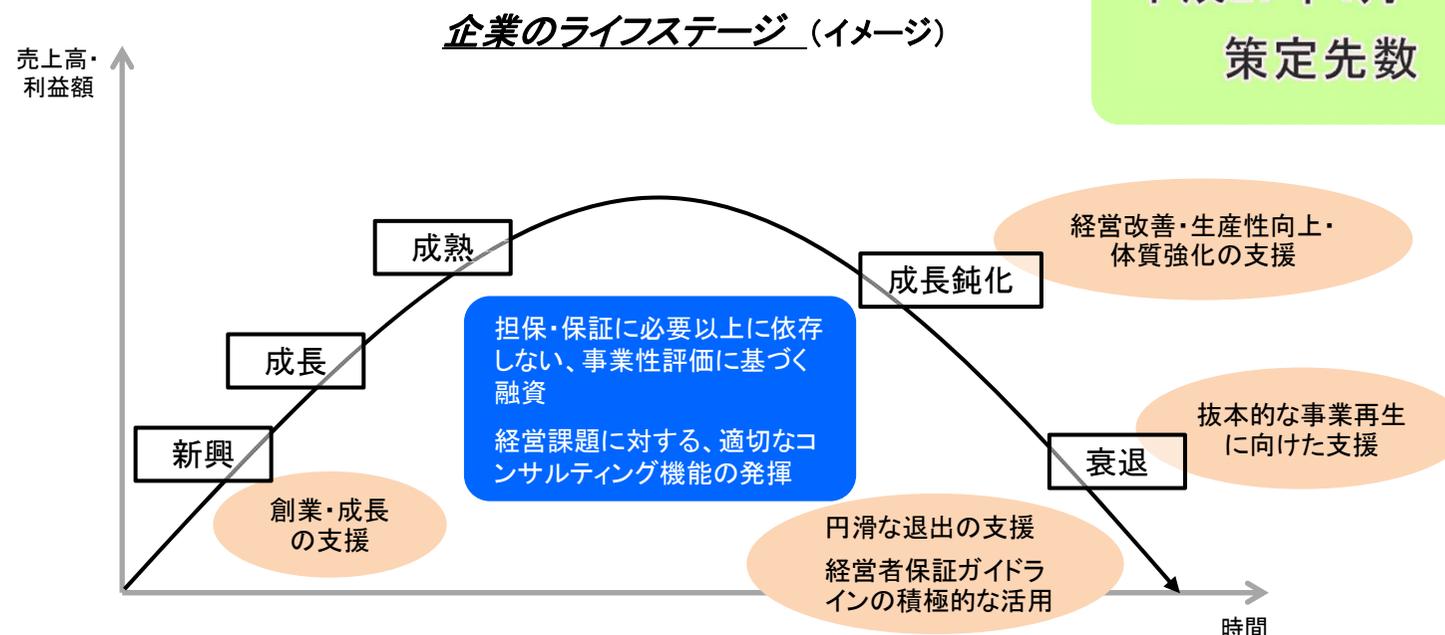
3. 地域密着型金融の具体的な取組みについて

(1)お客さまに対するコンサルティング機能の発揮

事業性評価シートの制定

- 事業の内容や成長可能性などを適切に評価(事業性評価)し、ライフステージに合わせた融資や助言を行うために平成27年4月より事業性評価シートを制定・運用開始。一定の条件を満たす企業について作成を推奨。

平成27年4月～平成28年3月
策定先数：717先



3. 地域密着型金融の具体的な取組みについて

事業性評価の態勢整備

- 事業性評価について、企画・教育(サポート)・推進(情報発信)・評価について態勢を整備



3. 地域密着型金融の具体的な取組みについて

創業・新規事業開拓

『新規事業への展開支援』

▶ 「ものづくり補助金」の申請支援

当行と連携する外部専門家を紹介し、補助金申請に係る事業計画書の策定や、新規事業の設備投資額の2/3、上限10百万円の補助金交付制度への申請を支援しました。

▶ 「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」認定企業に対する「総合特区支援利子補給金制度」の申請支援

「利子補給金制度の指定金融機関」として申請書の作成を支援しています。

「ものづくり補助金」

1次2次合算公募採択件数全国9位

1次2次公募採択件数共に県内1位

(合計採択件数123件)

順位	認定支援機関	1次公募	2次公募	合計
1	商工組合中央金庫	427	302	729
2	静岡銀行	119	107	226
3	西武信用金庫	85	62	147
4	伊予銀行	74	70	144
5	八十二銀行	84	56	140
6	北洋銀行	75	65	140
7	東和銀行	67	65	132
8	多摩信用金庫	75	55	130
9	名古屋銀行	64	59	123
10	常陽銀行	65	49	114

3. 地域密着型金融の具体的な取組みについて

成長分野の育成や産業集積による高付加価値化をサポート

『海外進出支援』

- 南通支店・上海駐在員事務所を活用し、中国への進出を支援しています
- 提携先からの情報提供を通じ、現地の情報を提供できる環境を整備しています

実績

「FBC上海2015ものづくり商談会」

参加企業数 : 493社
うち当行枠での参加 : 21社
来場者数 : 7,300名

提携先

バンコック銀行、カシコン銀行(タイ)
バンクネガラインドネシア(インドネシア)
メトロポリタン銀行(フィリピン)
ベトコム銀行(ベトナム)
アグアスカリエンテス州、ハリスコ州(メキシコ)

◆ この他にも、「お客さま懇親会in Thailand 2015」(27年5月)「お客さま懇親会in Indonesia 2015」(同)「Mfairバンコク2015ものづくり商談会」(27年6月)など様々な取組みをしております！

- 法人営業部国際ビジネス推進室による国内での海外進出・貿易支援

営業店行員との同行訪問数 : 493社
外国為替新規取引先数 : 342社

- ジェトロ名古屋貿易情報センターと中堅・中小企業等の海外展開支援連携強化に関する覚書を締結

3. 地域密着型金融の具体的な取組みについて

成長分野の育成や産業集積による高付加価値化をサポート

『成長基盤強化対象先に対する支援を通じての活性化』

「第1回 あいち・じもと農林漁業成長応援 「食」と「農」の大商談会」

～ 6次産業化・農商工連携による地方創生に向けて ～

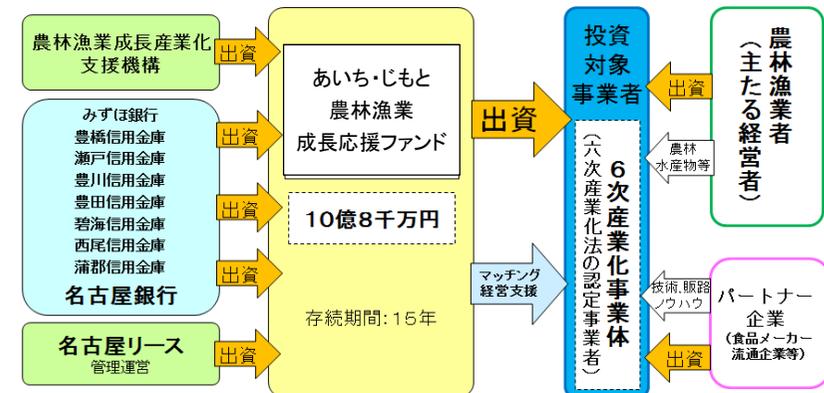
＜共催企業：あいち・じもと農林漁業成長応援ファンドの共同出資企業＞

みずほ銀行、豊橋信用金庫、瀬戸信用金庫、豊川信用金庫、
豊田信用金庫、碧海信用金庫、西尾信用金庫、蒲郡信用金庫、
農林漁業成長産業化支援機構、名古屋リース、名古屋銀行

【商談会の概要】

開催日時	: 平成28年3月24日(木)
出展企業	: 126社(318名)
個別商談参加バイヤー企業	: 73社(156名)
個別商談件数	: 443件
一般来場者	: 236名

＜「あいち・じもと農林漁業成長応援ファンド」について＞



3. 地域密着型金融の具体的な取組みについて

経営改善

『 経営改善に関する取組み 』

- お客さまの経営課題の抽出や解決をサポートするため、提携コンサルティング会社の紹介や外部機関との連携を強化し、積極的な推進を行っています

【提携機関、外部機関との取組み】

- 提携コンサルティング会社の紹介
- 愛知県中小企業再生支援協議会との連携強化
- 愛知県経営改善支援センターの活用
- 愛知中小企業再生2号ファンドの活用

【平成27年4月～平成28年3月の実績】

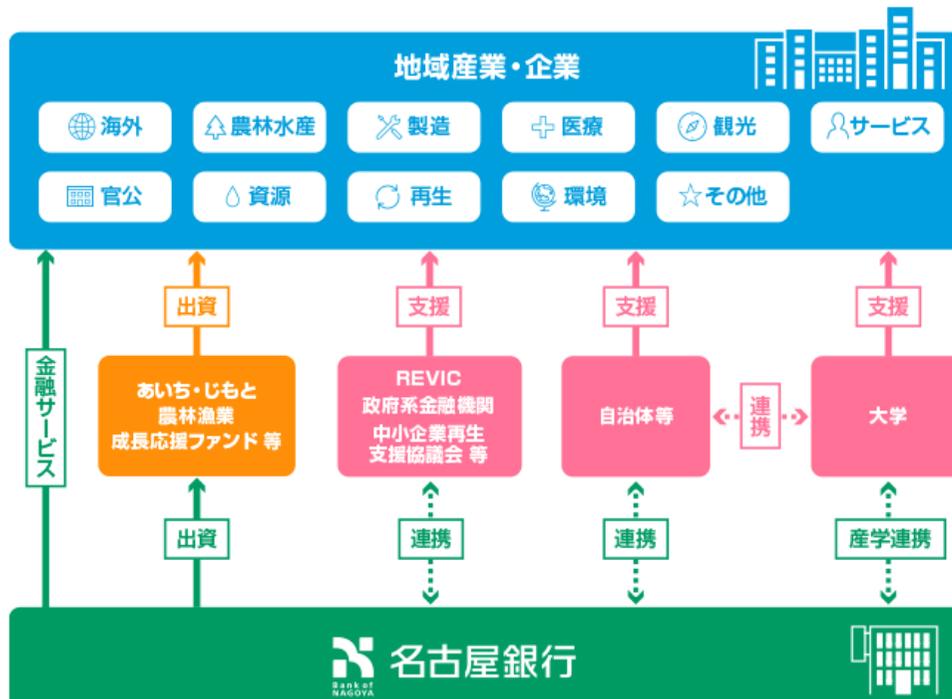
- 経営コンサルティング実施件数 109件
- 愛知県中小企業再生支援協議会・経営改善支援センター新規契約件数 28件
(平成28年3月末対応中の件数 102件)
- 信用保証協会による経営診断 49件

3. 地域密着型金融の具体的な取組みについて

(2) 地域社会の「まち・ひと・しごと」の活力向上への積極的な参画

「地方創生プロジェクトチーム」の編成

➤ 各地方公共団体の地方版総合戦略の策定及び推進を支援する態勢を構築



＜地方創生に係る連携協定 連携先(連携順)＞ 5市1団体

一宮市、犬山市・犬山商工会議所、小牧市、尾張旭市、半田市

＜産業振興に係る連携協定 連携先(連携順)＞ 2市13団体

公共財団法人あいち産業振興機構、名古屋商工会議所、

岡崎市・岡崎商工会議所、春日井商工会議所、愛知県商工会連合会、

小牧商工会議所、碧南市・碧南商工会議所、稲沢商工会議所、

江南商工会議所、犬山商工会議所、東海商工会議所、安城商工会議所、

津島商工会議所 (平成28年3月末現在)



尾張旭市との地方創生に係る包括連携に関する協定の締結
平成28年3月14日



津島商工会議所との「業務連携に関する協定書」の締結
平成28年3月28日

平成27年4月～営業店支店長を地方創生コーディネーターに任命

4. 今年度数値目標について

年間数値目標【期間：平成28年4月～平成29年3月】

目標項目	数値目標
M & A、事業承継の相談件数	550件
経営改善支援取組み先数	400先
目利き能力や事業性評価に関する渉外研修の実施	600名